

小高区川房地区における複合型園芸施設の整備計画について

1 複合型園芸施設の整備計画の経緯

市では、農業の復興・再生に向けた取組の一環として、新たな農業モデルの構築やイノベーションの創造に取り組む、園芸施設の整備を計画しているところ。

(1) 現状の課題

- 小高区では営農再開や住民の帰還が他地区に比べて進んでおらず、農家の高齢化率も全国に比べて高く、後継者がいない場合も多いという課題がある。
- 担い手不足を解消するため、農業によって十分な収益が得られる環境をつくり農業者の営農意欲を向上させることが必要である。

(2) 解決の方向性

- 一人当たりの野菜の消費量は減少傾向にあるが、カット野菜や冷凍野菜等の加工野菜は市場規模が拡大している。
- 野菜の生産にあたっては遠方から苗が輸送されることで品質低下やコスト上昇が生じている。

(3) 施設整備と目指す姿

- 農産物に高い付加価値を付けられる農産物加工施設及び農産物の品質保持のための苗を生産する施設を整備し、収益の安定化に結びつける。
- 農家の収益を確保し担い手を呼び込むことで、小高区中心に営農再開を進め、一帯の農地が活用され、安心して農業を営むことができる姿を実現する。

(4) 施設の活用

①育苗施設

- ・野菜苗の生産 年間500～600万本 見込
- ・施設運営者の営農のほか、地域農家への販売も行う

②農産物加工施設

- ・加工品製造量 年間およそ2,000トン 見込
- ・カット野菜、業務用野菜、冷凍製品を製造

< 概略図 >



小高区川房地区における複合型園芸施設の整備計画について

2 複合型園芸施設の整備計画の概要

(1) 複合型園芸施設の整備主体

- ・ 南相馬市

(2) 土地選定の主な理由

- ・ 小高区川房地区には一団の農地が広がっており、園芸施設の整備に必要な面積が確保できること。
- ・ (仮称)小高スマートインターチェンジの建設予定地に近接しており、供用開始後における常磐自動車道を使った農産物の輸送面で優位であること。

(3) 複合園芸施設の整備候補地

- ・ 所在地 小高区川房字田中 地内
- ・ 敷地面積 約2.6ヘクタール






(4) 施設の運営者

- ・ 施設の運営事業者は、農業用施設等貸付選定委員会に諮り決定する。
- ・ 修繕等を含めた施設の一切の運営費用は施設運営者が負担。

(5) 整備概要

予定地	南相馬市小高区川房字田中 地内		
敷地面積	約26,250㎡ (施設面積6,000㎡)		
生産品目	野菜苗、加工野菜 (カット野菜、冷凍製品 等)		
出荷予定数量	約2,000t/年		
建設物	育苗施設、農産物加工施設		
主な販路	大手飲食店、小売店 等		
総事業費	約53億6,000万円		
内訳	工事費	50億9,600万円	
	設計費	2億2,200万円	
	用地取得費	4,200万円	

(6) スケジュール

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
設計・工事	測量・設計				
	造成工事				
	建築工事				
各種 手続	農業振興地域除 外、農地転用				
	開発協議・ 建築確認申請				
運営開始					